

2014年9月政治・経済・社会情勢関連報道

1. 政治関連報道

報道日	報道内容
2 日	1 日、大統領府にて予定されていたマルテリー大統領、デラ上院議長、野党系上院議員 6 人組（G6）の会合に、6 人組は現れず。
3 日	2 日、野党系上院議員 6 人組と野党勢力（Fusion、INITE、Kontra Pep La、Ayisyen pou Ayiti、MOPOD）が会合を開いた。内容は非公開。マルテリー大統領との会合に備え。
8 日	8 日、第 49 立法期通常会期が終了。
9 日	臨時選挙管理委員会（CEP）の委員長代理に現副委員長のシャンタル・レイモン女史が就任。マテュラン委員長の健康上の理由から。
16 日	15 日、米議会議員がデラ上院議長宛書簡で、選挙遅延に係る懸念を表明、上院での修正選挙法案の早期の承認を求めた。
17 日	ジャン＝ジュモ首相付エネルギー保安担当大臣が解任。
18 日	17 日、米州機構の協力のもとマルテリー大統領が中心となり国防省と共に策定作業を進めている国防・安全保障白書のための研究会が開催される。
19 日	臨時選挙管理委員会は、県選挙事務所（通称 BED。西県 2 箇所、他県各 1 箇所の全 11 箇所）の委員を発表した。各事務所は委員長、副院長、財務担当の 3 名からなる。
19 日	オレリウス国家警察長官は、8 月の刑務所大量脱獄事件は、刑務所看守が幫助し脱走させたものである旨明らかにした。
21 日	20 日、ラモット首相はニューヨークで開催予定の第 69 回国連総会への出席のため出発した。
23 日	22 日、マルテリー大統領は大統領府にて、デラ議長、ジョゼフ高等法院長、政党 OPL や市民団体の代表者たちと会合。内容は非公開。議題は選挙に係るもの。
25 日	25 日、ニューヨークにて、マルテリー大統領、明年 1 月の「大統領デクレ」によル当地に言及。
27 日	26 日、マルテリー大統領、国連総会にて演説。

2. 経済関連報道

報道日	報道内容
-----	------

1 日	17 日から、米国フロリダ南部のウォルマートのチェーン店 6 店舗にてハイチ産コーヒーの発売開始予定。商標名は「Towo Supreme」（牛のロゴ入りの赤い袋）。
4 日	ハイチ北岸の海浜リゾート、ラバディ・ロイヤル・カリビアンに寄港したクルーズ船の観光客数は、2014 年上半期で 368,942 名、2012 年の同期比較で 6.3%の増加（2013 年は前年比 5.5%の増加）。
4 日	ハイチ政府からの求めに応じ、国際通貨基金は理事会で、2014 年 12 月 28 日までハイチに対する特別融資（FEC）の延長を承認した。
22 日	2014 年 7 月インフレ率、前年同月比 4.9%。
29 日	ラロ通商・産業大臣は、北県における企業支援サービス（SAE）のメンバーを任命した。SAE は、通商・産業省の新たな枠組みで、企業活動振興のためハイチ全 10 県の企業に対して同省のサービスを広く引き渡らせることを目的としたもの。

3. 社会関連報道

報道日	報道内容
1 日	8 月 29 日、助産婦訓練校の INSFS から 36 名が卒業。記念式典にソフィア・マルテリー大統領夫人らが出席。
1 日	オーギュスト首相付人権貧困対策担当大臣のイニシアチブのもと始められたアート・プロジェクト「Kalfou Riches Peyi d'Ayti」で歌唱指導を受けた 41 名の若者とその指導者により、消滅の危機に瀕するハイチの伝統歌謡の録音が行われた。
5 日	4 日、大統領府にて日本を含む全 4 ヶ国の大使信任状捧呈式が執り行われた。
9 日	マニガ国民教育・職業訓練大臣は、教員資格取得試験の受験まで、全ての教職員に猶予期間として 2 年間の臨時免許を与える方針を固めた
9 日	9 日、プチ・ゴアーヴ市を走る国道 2 号線、タピオン丘の麓で交通事故が発生、23 名が死亡、37 名が怪我。
11 日	11 日、カパイシアン市で、一度に 2 名以上の乗客を後部シートに乗せることを禁じた警察の決定を不服とするバイクタクシー運転手の抗議活動に対し、警察は威嚇射撃を行い、一時緊張が高まった。
15 日	米国の FRAA(Foreign Relations Authorization Act)は、米国に悪影響を及ぼしているとする世界の主要な麻薬密造拠点及び中継ルート全 22 ヶ国を発表した。ベネズエラ、メキシコ、ジャマイカ、ドミニカ共和国、ハイチ等。

22 日	20 日未明、カパイシアン刑務所から 3 名の囚人が脱走。内 1 名はギャング団の元 No.2 であり、終身刑により服役中の凶悪犯。
22 日	22 日未明、マルティサン地区でギャング団のリーダー、カンソン・フェ（鉄のパンタロン）ことピエール＝リシャール・ミュリュスと女性 4 名が銃撃を受け死亡。
25 日	2,800 万グルドをかけて狂犬病対策。48 万匹以上への接種を目指す。
29 日	前週、スペイン政府から派遣された考古学者 3 名が、北東県カラコル市で、18 世紀後半にコロンブスのサンタマリア号の錨が発見された場所を示すモノリス（一本石）の発掘作業を行った。

＊当国各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。